

が つ に ち か れ い わ ね ん ど が つ ほ せ い よ さ ん  
9月7日(火) 令和3年度9月補正予算

き し ゃ か い け ん は っ ぴ よ う な い よ う  
記者会見 発表内容

れ い わ ね ん ど が つ ほ せ い よ さ ん あ ん が い よ う せ つ め い  
令和3年度9月補正予算(案)の概要について、ご説明させていただきます。

て も と た て が し り よ う れ い わ ね ん ど が つ ほ せ い よ さ ん あ ん が い よ う ら ん  
お手元の、縦書きの資料令和3年度9月補正予算(案)の概要をご覧ください。まずは、1ページ目の、「一般会計9月補正予算の概要」であります。

こ ん か い ほ せ い よ さ ん き ん き ゅ う し え ん さ く だ い だ ん し ん が た  
今回の補正予算は、緊急支援策「第13弾」としまして、新型コロナウイルス感染症が急拡大する中で、引き続き、事業者等への支援策を盛り込みました。

ほ ん し し ょ う ら い み す な か こ う り つ ほ い く し ょ さ い へ ん  
さらに、本市の将来のまちづくりを見据えた中で、「公立保育所再編事業」や「防災対策事業」をはじめ、緊急かつ必要性の高い事業に厳選し、計上することとしました。

つぎ よさん きぼ れいわ ねんどいっぽんかいけいほせいよさん  
次に、予算規模についてであります。令和3年度一般会計補正予算

だい ごう きぼ おく まん せんえん ほせいご よさんそうがく  
(第4号)の規模は、「14億7,417万7千円」であり、補正後の予算総額

おく まん せんえん たいぜんねんどひ げん  
は、「311億9,272万4千円」、対前年度比では、「5.9%の減」となっ  
ております。

つづ らん  
続きまして、7ページをご覧ください。

しんがた かんせんしょうたいさくきんきゅうしえんさく だい だん  
7ページが、新型コロナウイルス感染症対策緊急支援策「第13弾」

かか おも じぎょう つぎ らん  
に係る主な事業となっております。次に8ページから11ページを

ほんし しょうらい みす しゅうしさく がいよう  
さい。本市の将来のまちづくりを見据えた、主要施策の概要であります。

とくべつかいけい かん ほせい きぎょうかいけい かん  
なお、特別会計に関する補正につきましては12ページに、企業会計に

ほせい きさい  
る補正につきましては、13ページから14ページにかけて記載して  
おります。

つぎ きんきゅうしえんさく だい だん おも じぎょう よこが  
次に、緊急支援策「第13弾」の主な事業について、ここからは「横書

しりょう もち せつめい  
きカラーの資料」を用いてご説明します。

こんかい きんきゅうしえんさく だい だん がつほせいよさん けいじょう  
今回の緊急支援策「第13弾」については、9月補正予算にて計上

じぎょう とくていけいかい はつどう じんそく たいおう  
した事業のほか、とくしまアラート「特定警戒」の発動に迅速に対応する

くりこしよさん よび ひ じゅうよう じっし じぎょう ふく  
ため、繰越予算や予備費を充用して実施する事業も含まれており、

しりょうちゅう ひょうき  
資料中に表記をしております。

しりょう ひら  
それでは、資料2ページをお開きください。

ちいきかつどうかんせんぼうしたいさくじぎょう  
まずは、「地域活動感染防止対策事業」であります。

ちいき かつどう みなさま あんぜん あんしん かくほ じちしんこうかい  
地域で活動いただく皆様の安全・安心を確保するため、自治振興会

きよてん しせつどう たいおん じどう てゆびしょうどく きのう  
の拠点となる施設等に、体温スクリーニングと自動手指消毒の機能を

も きき はいび しみんだんたい おこな じぎょう しえん  
持った機器を配備するとともに、市民団体が行う事業の支援といたしま

きじょう しょう まじき ばん じどう たいおんそくてい てゆびしょうどく  
して、机上で使用する「間仕切り板」や、自動で体温測定と手指消毒を

おこな きのう も きき かだ おこな  
行う機能を持った機器の貸し出しを行います。

げんざい か えいきょう しゅうかい どう かいさい  
現在は、コロナ禍の影響もあり、集会やイベント等の開催など、

ちいき かつどう せいげん じょうきょう こんご  
地域での活動が制限されている状況となっておりますが、今後のウィ

みす ちいき みなさま かつどうしえん おこな  
ズコロナ・アフターコロナを見据え、地域の皆様の活動支援を行ってま  
いります。

しりょう ひら  
資料3ページをお開きください。

つぎ こそだ せたいしょうひんけんきゅうふじぎょう  
次に、「子育て世帯商品券給付事業」であります。

しんがた かんせんしょう えいきょう ちょうきか なか ていしょとく  
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、低所得の

こそだ せたい たい しない かめいてんぼ りょう しょうひんけん  
子育て世帯に対し、市内の加盟店舗で利用できる「うずとく商品券」を

はいふ たいしょうしゃ くに し しきゅう ていしょとく こそだ せたい  
配布します。対象者は、国または市が支給する低所得の子育て世帯に

たい こそだ せたいせいかつしえんとくべつきゅうふきんじゆきゅうせたい ようほご じゆん  
対する子育て世帯生活支援特別給付金受給世帯、要保護・準

ようほごじどうせいと せたい はいふがく じどうひとり えん  
要保護児童生徒のいる世帯で、配布額は児童1人あたり10,000円で  
す。

せいかつ ついかしえん どうじぎょう たいしょうしゃ しょうひんけん  
また、生活への追加支援として、同事業の対象者には商品券の

はいふ あわ ししてい ぶくろむしょうこうふひきかえけん どうふう  
配布に併せて「市指定ごみ袋無償交付引換券」を同封します。

しりょう ひら  
資料4ページをお開きください。

つぎ なるとしすいさんぎょうじぎょうけいぞくきゅうふきん  
次に、「鳴門市水産業事業継続給付金」であります。

ぎょぎょうきょうどうくみあい すいさんじぎょうしゃ ちゅうかくてきそしき はんばいじぎょう  
漁業協同組合は、水産事業者の中核的組織として、販売事業や

しどうじぎょう ぎょじょう りようちょうせい しげんかんり こうえきてき  
指導事業のほか、漁場の利用調整や資源管理などの「公益的かつ

たよう やくわり にな  
多様な役割」を担っていただいております。

ぎょぎょうしゃ げんしょう つづ なか はんばいてすうりょう  
しかし、漁業者の減少が続く中、販売手数料をはじめとした

しゅうにゆう げんしょう かんせんかくだい ちょうきか きこうへんどうとう えいきょう  
収入が減少し、さらに、感染拡大の長期化や気候変動等の影響も

くわ けいえい あっか じょうきょう  
加わり、経営が悪化している状況となっております。

せいさんしゃだんたい ぎょぎょうきょうどうくみあい けいえい しえん  
こうしたことから、生産者団体である漁業協同組合の経営を支援

ほんしすいさんぎょう じぞくてき はってん うなが もくてき きゅうふきん  
し、本市水産業の持続的な発展を促すことを目的として、給付金を

きゅうふ  
給付いたします。

しない ぎょきょう たいしょう きゅうふきほんがく まんえん しせつひ ししゅつ  
市内の8漁協を対象とし、「給付基本額」50万円に、施設費の支出

じょうきょう おう かさんがく くわ きんがく きゅうふ よてい  
状況に応じた「加算額」を加えた金額を給付する予定としており、

じょうげんがく まんえん  
上限額は300万円としています。

つぎ とくていけいかい きんきゅうたいおうじぎょう  
次に、「とくしまアラート「特定警戒」緊急対応事業」であります。

がついこう しんがた かんせんしょう さいかくだい  
8月以降、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、とくしまアラ

とくていけいかい はつどう どめ えいぎょうじかん たんしゅくようせい  
一ト「特定警戒」の発動や、2度目となる「営業時間の短縮要請」な

きせい えいぎょう いじょう おお  
ど、コロナ規制による影響がこれまで以上に大きくなっていることから、

とく えいぎょう う おも じぎょうしゃ しえん  
特に影響を受けていると思われる事業者を支援いたします。

ふとくていたすう りよう いんしょくてん かぎ かいしゃ  
さらに、不特定多数が利用する飲食店などに限らず、会社において

はっせい しない かんせんかくだい  
もクラスターが発生していることから、市内オフィスにおける感染拡大

ぼうしきく しえん しえんきん きゅうふ  
防止策についても支援するため、支援金を給付いたします。

たいしょうしゃ  
対象者は、

えいぎょう とく う じぎょうしゃ  
①とくしまアラートの影響を特に受けている事業者

しない かま じぎょうしゃ  
②市内にオフィスを構える事業者

じたんようせい おう いんしょくてん とりひき じぎょうしゃ  
③時短要請に応じた飲食店と取引のある事業者

としております。

しえんきん いちりつ まんえん たいしょうしゃすう じぎょうしゃ みこ よさん  
支援金は一律2万円、対象者数は500事業者を見込んでおり、予算

がく まんえん  
額は1,000万円であります。

ほんじぎょう よさん きんきゅうしえんさく だい だん  
なお、本事業の予算につきましては、緊急支援策「第12弾」におい

よびひ じゅうよう じっしちゅう た の じぎょうひ いちぶ  
て、予備費を充用し、実施中の「食べ・乗り+(プラス)」の事業費を一部

かつよう じっし よてい  
活用して実施する予定としております。

しんせいかいし じきとう しょうさい こんごけていしだい なるとしこうしき  
申請開始時期等、詳細につきましては、今後決定次第、鳴門市公式

とう とお はっぴょう  
ウェブサイト等を通して発表いたします。

しりょう ひら  
資料5ページをお開きください。

つぎ なるとしかんこうかんれんじぎょうしゃしえんきゅうふきん  
次に、「鳴門市観光関連事業者支援給付金」であります。

しゅくはくしせつ かんこうしせつ さまざま じぎょうしゃ しえん おこな  
これまで宿泊施設や観光施設をはじめ、様々な事業者の支援を行

しんがた かんせんしょう えいきょう ちょうきか  
ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化して

みやげもの おろしうりぎょうしゃ かんこうしせつとう とりひき じぎょうしゃ  
おり、土産物の卸売業者をはじめ、観光施設等と取引のある事業者に

えいきょう およ  
も影響が及んでいます。

じぎょうしゃ ちゅうしん しえん ゆ とど  
これらの事業者を中心に、これまで支援が行き届いていなかった

かんこうかんれんじぎょうしゃ しえん おこな ほんじぎょう じっし  
観光関連事業者への支援を行うため、本事業を実施することといたし  
ました。

たいしょう じぎょうしゃ たいけんがたかんこうしせつ いたな しない じぎょうしゃ およ  
対象となる事業者は、「体験型観光施設を営む市内の事業者」及

しゅくはくしせつ かんこうしせつ みやげものてん かんこうじぎょうしゃ とりひき  
び、「宿泊施設や観光施設、土産物店などの観光事業者と取引のある

しない じぎょうしゃ きゅうふがく いちりつ まんえん  
市内の事業者」であり、給付額は、一律5万円としております。

きゅうふようけん  
給付要件としましては、

しない ほんでんまた じぎょうしょ ゆう ほうじんまた こじん  
①市内に本店又は事業所を有する法人又は個人であること

げんざい えいぎょう こんご じぎょう けいぞく いし  
②現在営業しており、今後も事業を継続する意思があること

れいわ ねんちゅう うりあ れいわがんねん どうげつひ いじょうげんしょう  
③令和3年中の売上げが、令和元年の同月比で50%以上減少した

つき  
月があること

としております。

つき む かんこうじぎょうしゃ む けいえいそうだんじぎょう  
次に、「アフターコロナに向けた観光事業者向け経営相談事業」であ

ります。

しんがた かんせんしょう まんえん かんこうきゃく  
新型コロナウイルス感染症が蔓延したことにより、観光客をはじめ

おお かたがた せいかつ へんか あら せいかつ  
とする多くの方々の生活スタイルが変化しています。この新たな生活

たいおう か かんこうぎょう じょうきょうぶんせき  
スタイルに対応するため、コロナ禍での観光業の状況分析やアフタ

じぎょうせんりやく かんこうじぎょうしゃ たいしょう  
ーコロナにおける事業戦略などについて、観光事業者を対象にセミナ



かいさい しんじぎょう しんしょうひんかいはつ  
一を開催するとともに、新事業・新商品開発、プロモーションなどにつ

せんもんか こべつ そうだん けいえいそうだんかい じっし かんこう  
いて、専門家に個別に相談できる経営相談会を実施することで、観光

じぎょうしゃ しえん つな  
事業者の支援に繋がります。

きんきゅうしえんさく だい だん せつめい いじょう  
緊急支援策「第13弾」についての説明は以上になります。

つぎ ぼうさいたいさくじぎょう じぎょう せつめい  
次に、「防災対策事業」として、2つの事業をご説明いたします。

しりょう ひら  
資料6ページをお開きください。

ふくしひなんじょうんえいたいせいきょうかじぎょう  
まずは、「福祉避難所運営体制強化事業」であります。

ふくしひなんじょ きのうじゅうじつ はか ようはいりよしゃ せいかつかんきょう せいび  
福祉避難所の機能充実を図るため、要配慮者の生活環境の整備

ひつよう しつないよう しきざい けん ほじょきん かつよう  
に必要な、室内用テントなどの資機材について、県の補助金を活用して

せいび すす  
整備を進めます。

つぎ しょうぼうだんきゅうじょのうりよくこうじょうしきざい きんきゅうせいびじぎょう  
次に、「消防団救助能力向上資機材緊急整備事業」であります。

きんねん ぜんこくてき じしん ごうう かせん はんらん まいとし おお  
近年、全国的に地震や豪雨による河川の氾濫など、毎年のように大

ひがい さいがい はっせい ほんし  
きな被害をもたらす災害が発生しております。本市におきましても、

おおがたいふう きょくちてき しゅうちゅうごう こうずいしんすいたいさく しょうぼうだん  
大型台風や局地的な集中豪雨による洪水浸水対策として、消防団

きゅうじょかつどうじ しょう きゅうめい はいび はいび  
が救助活動時に使用する「救命ボート」を配備しておりますが、配備し

すで ねん けいか きゅうめい こうしん ついか  
てから既に16年が経過していることから、「救命ボート」の更新・追加

はいび  
配備をいたします。

つぎ ほんし しょうらい みす じゅうてんしさく せつめい  
次に、本市の将来を見据えた「重点施策」について、ご説明いたし  
ます。

しりょう ひら  
資料7ページをお開きください。

けいえいけいしょう はってんしえんじぎょう  
まず、「経営継承・発展支援事業」であります。

ほんじぎょう れいわ ねんど くに しんきほじょじぎょう ちいき のうち  
本事業は、令和3年度からの国の新規補助事業であり、地域の農地

りょうとう にな けいえいたい かくほ もくてき けいえい けいしょう  
利用等を担う経営体を確保することを目的として、経営を継承した

こうけいしゃ けいえい はってん けいえいはってんけいかく もと  
後継者が、その経営を発展させるための「経営発展計画」に基づいて

じっし と く しえん  
実施する取り組みを支援します。

つぎ むらこうえん せいびじぎょうせつけいぎょうむ  
次に、「ドイツ村公園トイレ整備事業設計業務」であります。

むらこうえん りべんせいこうじょう こうえん りんち  
ドイツ村公園の利便性向上のため、公園の隣地に、トイレや

ちゅうしゃじょう あんないかんばんとう せいび めぎ こんかい ほせいよさん  
駐車場、案内看板等の整備を目指しており、今回の補正予算では、

せつけいぎょうむ ちゃくしゆ ばんどうふりよしゅうようじよかんけいしりょう せかい  
設計業務に着手します。板東俘虜収容所関係資料のユネスコ「世界

きおく とうろくしんせい ひか なか じょうほうはっしんきよてん いったいてき  
の記憶」登録申請を控える中、情報発信拠点のひとつとして、一体的

せいび  
に整備してまいります。

しりょう ひら  
資料8ページをお開きください。

つぎ だい きなるとしちいきふくしけいかくさくてい かか しみん じっし  
次に、「第2期鳴門市地域福祉計画策定に係る市民アンケート実施

しえんぎょうむ  
支援業務」であります。

ほんし だれ ちいき あんしん く だれ  
本市では、「誰もが地域で安心して暮らしていくことができ、誰もがし

せいかつ なるとし じつげん へいせい ねん がつ  
あわせに生活できる鳴門市」を実現するため、平成30年3月に

なるとしちいきふくしけいかく さくてい ちいきふくし すいしん はか  
鳴門市地域福祉計画を策定し、地域福祉の推進を図ってまいりました。

ほんけいかく きかん へいせい ねんど おおむ ねん れいわ  
本計画の期間は平成30年度から概ね5か年としており、令和4

ねんど さくていよてい だい きなるとしちいきふくしけいかく きそしりょう  
年度に策定予定である「第2期鳴門市地域福祉計画」の基礎資料とする

こんねんど しみん じっし  
ために、今年度は市民アンケートを実施いたします。

つぎ こうりつほいくじよさいへんじぎょう  
次に、「公立保育所再編事業」であります。

へいせい ねん がつ さくてい こうりつほいくじよさいへんけいかく もと げんざい  
平成31年4月に策定した「公立保育所再編計画」に基づき、現在、

あら こうりつほいくしよ けんせつ む と く  
新たな公立保育所の建設に向けて取り組んでおります。

がつまつ しせつ じっしせつけい かんりょう よてい  
9月末には、施設の「実施設計」が完了する予定となっており、この

たび しせつ けんせつ ひよう けいじょう  
度、施設を建設するための費用について計上いたしました。

こうりつほいくしよ りょう じどう はたら しょくいん あんぜん あんしん  
公立保育所を利用する児童や、そこで働く職員の安全・安心の

かくほ こうりつほいくしよ ちいき こそだ しえん きよてん やくわり  
確保、さらには、公立保育所が地域の子育て支援の拠点としての役割を

は れいわ ねんあき しせつかんせい む じぎょう すいしん  
果たすため、令和4年秋の施設完成に向け、事業を推進してまいりま  
す。

しりょう ひら  
資料9ページをお開きください。

つぎ すいしんじぎょう  
次に、「GO TO サロン推進事業」であります。

みす こうれいしゃ がいしゅつきかい そうしゅつ かいごよぼう  
アフターコロナを見据え、高齢者の外出機会の創出や介護予防の

ふきゅうけいはつ はか ちいき かよ ぼ おこな  
普及啓発を図るため、地域の通いの場である「いきいきサロン」で 行

ひやくさいたいそう さんか こうれいしゃ  
われている「いきいき百歳体操」に参加した高齢者に、「ナルトレタビ」を

しんてい さんかそくしんじぎょう  
進呈する、「いきいきサロン」参加促進事業「GO TO サロン キャンペー

おこな  
ン」を行います。

か えいきょう しょう こうれいしゃ と  
これは、コロナ禍の影響により生じている、高齢者の閉じこもりや、

うんどうきかい げんしょう たいおう きゅうむ ようかいごにんてい おちい ほう  
運動機会の減少への対応が急務であり、要介護認定に陥る方が

ぞうだい まえ かつどう さんか こうれいしゃ ふ  
増大する前に、「いきいきサロン」活動に参加していただく高齢者を増や

と く  
していこうという取り組みであります。

ぐたいてき はいふ おこな  
具体的には、ポイントカードの配布を 行い、「いきいきサロン」におい

た た  
て、スタンプを5つ貯めていただき、貯まったポイントカードにより、「ナルト

ひ か おこな よてい  
レタビ」と引き換えを 行 いう予定としております。

たいかんきょうか こうか きたい  
また、「ナルトレタビ」は、体幹強化の効果が期待されるものであり、「い

と く ひやくさいたいそう  
いきいきサロン」においてこれまで取り組んできた「いきいき百歳体操」を

おこな さい は そうじょうこうか はか よぼう  
行 いう際に履いていただくことで、相乗効果が図られ、「フレイル予防」に

つながるのではないかと <sup>かんが</sup> 考 えております。

この「GO TO サロン キャンペーン」を1つの <sup>きかい</sup> 機会として、<sup>こうれいしゃ</sup> 高齢者の

<sup>みなさま</sup> 皆様に「いきいきサロン」に <sup>さんか</sup> 参加していただくことで、<sup>こうれいしゃ</sup> 高齢者の <sup>がいしゅつ</sup> 外 出

<sup>きかい</sup> 機会の <sup>そうしゅつ</sup> 創 出 や <sup>うんどうきのう</sup> 運動機能の <sup>いじ</sup> 維持・<sup>こうじょう</sup> 向 上、さらには「フレイル予防」に <sup>よぼう</sup> 取り  
く  
組んでまいります。

<sup>つぎ</sup> 次、<sup>こうれいしゃ</sup> 高齢者向け <sup>きょうしつかいさいじぎょう</sup> スマートフォン教室 <sup>きょうしつ</sup> 開催事業」であります。

<sup>こうれいしゃ</sup> 高齢者の <sup>かつよう</sup> デジタル活用や <sup>しゃかいさんか</sup> 社会参加を <sup>しえん</sup> 支援するため、<sup>けいたいでんわ</sup> 携帯電話

<sup>じぎょうしゃ</sup> 事業者と <sup>れんけい</sup> 連携し、<sup>そうさほうほう</sup> スマートフォンの <sup>しゃしん</sup> 操作方法や <sup>と</sup> 写真の <sup>かた</sup> 撮り方、<sup>かくしゆ</sup> 各種 <sup>あぷ</sup> アプリ

<sup>つか</sup> りの <sup>かた</sup> 使い方を <sup>きほんてき</sup> はじめ、<sup>そうさほうほう</sup> 基本的な <sup>まな</sup> 操作方法などを <sup>きょうしつ</sup> 学ぶための <sup>きょうしつ</sup> 教室を

<sup>かいさい</sup> 開催します。

<sup>つぎ</sup> 次、<sup>はいふじぎょう</sup> 「インフォーマルサービスガイド配布事業」であります。

<sup>こうれいしゃ</sup> 高齢者の <sup>ざいたくせいかつ</sup> 在宅生活を <sup>しえん</sup> 支援するため、<sup>ざいたくせいかつ</sup> 在宅生活に必要な、<sup>ひつよう</sup> 介護 <sup>かいごほけん</sup> 保険

<sup>せいどいがい</sup> 制度以外の <sup>はいしよく</sup> サービスである、<sup>いどうはんばい</sup> 配 食 や <sup>た</sup> 移動販売、<sup>せいかつしえん</sup> その他 <sup>せいかつしえん</sup> 生活支援 <sup>さーび</sup> サービス

じょうほう しみんむ わ と ぜんせたい はいふ  
スなどの情報を、市民向けに分かりやすく取りまとめ、全世帯に配布いた  
します。

ほんじつ せつめい じぎょう いじょう はいふ よさん がいよう  
本日ご説明する事業は以上でございりますが、配布した「予算の概要」  
には、その他の主要な事業について、掲載しておりますので、ぜひご  
さんしょう おも  
参照いただければと思います。

いじょう きんきゅうしえんさく だい だん およ がつほせいよさん あん  
以上で、緊急支援策「第13弾」及び9月補正予算(案)についての  
せつめい お  
説明を終えさせていただきます。